

つながる学び ひろがる未来 夢を育む



笠岡市の 小中一貫教育



笠岡市教育委員会

基本理念

「学ぶ楽しさ 輝く個性 生き抜く力」

笠岡市の小中一貫教育構想イメージ図

【学校教育 基本方針】

「学び」「育ち」をつなぎ、自立して共に生きる子どもを育てる

郷土愛の育成

自立した子どもの育成

共生の心の育成

学ぶ力

豊かな心

健やかな体

小中一貫教育の推進

基本的姿勢

- 義務教育9年間を見通した教育課程
3つの視点「**学びの連続性、系統性**」
「**育ちの連続性**」
「**教育環境の連続性**」
- 中学校ブロックごとの目指す子供像，教育目標の設定
- 小・中学校教職員の共通認識と育成・指導の連携・協働
- 学校・保護者・地域の一体となった取組

発達段階に応じた指導

9年間を見通した教育課程の編成

教科担任制	中学校課程	中3	後期	充実・発展
		中2		
		中1		
学級担任制	小学校課程	小6	中期	習熟・接続
		小5		
		小4		
		小3	前期	基礎・基本の形成
		小2		
		小1		

9年間を見通した学習指導の充実

- ◇小中一貫教育指導カリキュラムの活用
- ◇特色ある教育課程の導入
 - ・地域学の実践
 - ・英語・外国語活動の充実
 - ・特別支援教育の充実

児童・生徒の交流
異学年交流
学校間交流

- ◇合同学習
- ◇学校行事等の合同実施
- ◇学習指導，生活指導の連携

指導方法と指導体制の充実

- ◇学校経営体制の充実
- ◇指導体制の充実
- ◇小学校高学年への一部教科担任制
- ◇相互の乗入れ授業
- ◇少人数指導，習熟度別学習
- ◇教職員の意識改革と指導力の向上

保護者・地域の学校運営への参画
学校運営協議会（コミュニティ・スクール）

こ・保・幼との連携



小中一貫教育では このようなことに取り組みます



中学校区で目指す子供像の設定



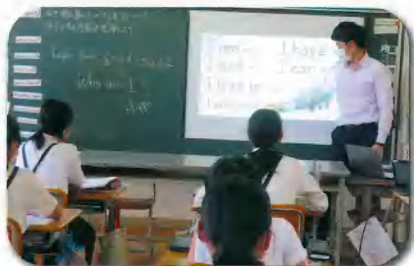
各中学校区において、それぞれの地域の特性をふまえ、義務教育9年間を見通した目指す子供像、学校教育目標等を設定し、小・中学校が一体となってその実現に努めます。また、中学校区全体の学校運営協議会を設置し、学校・保護者・地域の3者が連携して学校運営に取り組みます。

「小中一貫教育カリキュラム」の活用

「今日の授業までに何を学んできたのか」「今日の授業はこれから先のどの学習につながっていくのか」を明示した義務教育9年間を貫く系統的・継続的指導計画である小中一貫教育カリキュラムの活用により、子どもたちが今以上に「分かった」「できた」という喜びを味わうことができる授業を行います。



小学校高学年からの一部教科担任制、相互乗り入れ授業



小学校の学級担任制から中学校の教科担任制へと指導体制が変わる環境変化への対応や、専門的な指導を充実させ、学力や学習意欲の向上を図るため、小学校高学年から一部教科担任制を行います。また、小・中学校の教職員が連携・協力して学習指導の改善に取り組むために、中学校教員が小学校で、又は小学校教員が中学校で授業を行う「相互乗り入れ授業」を行います。

9年間の連続性のある特別支援教育

9年間を通じて一貫した指導・支援に取り組みます。児童生徒の障害の状態や特性等に関する情報や小学校段階での指導・支援の内容についての情報を引き継ぎ、小・中学校の教職員間の連携の中で、適切で継続性のある指導・支援を行います。



地域の特性を生かした「地域学」

児童生徒が郷土「笠岡」を愛し、誇りをもつ教育を推進するために、笠岡の日本遺産「石の島」や天然記念物「カブトガニ繁殖地」をはじめ、自然や歴史、風土、人々の想いや願いにふれる地域学を実施します。義務教育9年間を通して、系統的・継続的に探求活動を行います。

異学年交流で互いに成長

中学生が小学校6年生に中学校生活の様子を紹介したり、小中合同リーダー研修会等を開催したりします。小学生と中学生の交流は小学生の進学に対する不安の軽減や中学生のリーダーとしての資質の向上につながります。



笠岡市の小中一貫教育の基本姿勢

- 1 「学びの連続性, 系統性」「育ちの連続性」「教育環境の連続性」の3つの視点に立って, 義務教育9年間を見通した教育を推進します。
- 2 中学校区で設定した小中一貫教育の目標の達成に向けて, 小・中学校が一体となって学校教育を推進します。
- 3 中学校区内の小・中学校教職員が連携・協働して学校教育を推進します。
- 4 学校・保護者・地域が一体となって学校教育を推進します。

施設分離型小中一貫教育校

笠岡東 海成学園 (笠岡東中学校ブロック)



笠岡東中学校



中央小学校



神内小学校

笠岡西学園 (笠岡西中学校ブロック)



笠岡西中学校



笠岡小学校



大井小学校

大島みたけ学園 (大島中学校ブロック)



大島中学校



大島小学校

*施設分離型小中一貫教育校とは

小学校と中学校の校舎が隣接していない異なる敷地に別々に設置されている小中一貫教育校

施設分離型小中一貫教育校では, 小学校と中学校の施設がそれぞれ独立していますが, 目指す子供像等を一元化し, 「一つの学園」として機能する形態で, それぞれの教職員, 児童生徒が積極的に交流をしながら教育活動を行います。

連携教育



北川小学校

北川小学校は, 同じ中学校区である矢掛町立小田小学校及び笠岡市・矢掛町中学校組合立小北中学校と連携した教育を推進していきます。

特色を生かした教育



北木小学校



真鍋中学校

義務教育9年間のつながりを意識した授業を行い, それぞれの地域の特色を生かした教育を推進していきます。

休校中

白石小学校 真鍋小学校
白石中学校 北木中学校

施設一体型小中一貫教育校

令和8年度～10年度開校予定
(開校までは施設分離型での小中一貫教育)

金浦みらい学園 (金浦中学校ブロック)

金浦中学校



金浦小学校



城見小学校



陶山小学校

新吉学園

(新吉中学校ブロック)

新吉中学校



吉田小学校



新山小学校

神島外学園

(神島外中学校ブロック)

神島外中学校



神島外小学校



六島小学校

*施設一体型 小中一貫教育校とは

小学校と中学校の校舎全部又は一部が一体的に設置されている小中一貫教育校

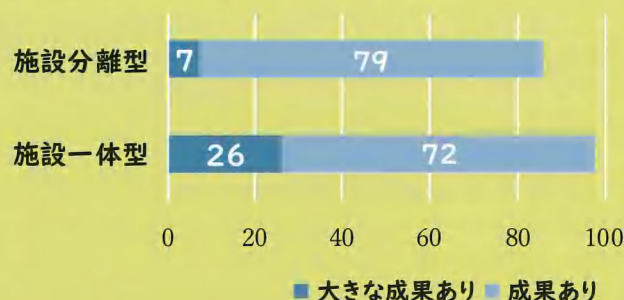
*施設一体型小中一貫教育校の対象となる中学校区は、敷地面積・立地・児童生徒数などの状況から選定しています。

施設一体型小中一貫教育校では、小学校と中学校のそれぞれに校長が配置されますが、小学校と中学校の施設、組織・運営を一体化した形態で教育活動を展開していきます。教職員、児童生徒が同じ敷地で日常的に交流を行うことができます。小学校高学年では、一部教科担任制をより充実させ、中学校教員による指導の専門性に根ざした質の高い授業を行うことにより、学力や学習意欲の向上を図ります。

笠岡市は、小学校と中学校を中学校区ごとのブロックに区分し、学校の立地条件や特性などの要件により、適切に判断して小中一貫教育を推進します。施設分離型、施設一体型のどちらにおいても、教育効果を高めていきたいと考えています。

小中一貫教育等についての実態調査の結果 (文部科学省 H26 調査)

総合的評価



【主な成果】

- ・授業が理解できると答える児童生徒が増えた。
- ・学習意欲が向上した。
- ・中学校への進学に不安を覚える児童が減少した。
- ・児童生徒の学校生活への満足度が高まった。
- ・いわゆる「中1ギャップ」が緩和された。
- ・学習規律・生活規律の定着が進んだ。
- ・児童生徒の規範意識が高まった。
- ・児童生徒に思いやりや助け合いの気持ちが育まれた。
- ・上級生が下級生の手本となろうとする意識が高まった。
- ・下級生に上級生に対する憧れの気持ちが強まった。

つながる学び ひるがる未来 夢を育む 笠岡市の小中一貫教育

「学び」「育ち」をつなぎ、自立して共に生きる子どもを育てます

夢に向かって!

- 自立**
- ・主体的に学ぶ子
 - ・確かな学力を身に付けた子
 - ・道徳性や規範意識を身に付けた子
 - ・心身の健康を大切にしている子
 - ・自分の夢や目標に向かって努力している子

- 共生**
- ・多様性を認め合い、他者を思いやれる子
- 郷土愛**
- ・郷土「笠岡」を愛する子

期待に胸をふくらませて!



小学校入学式



幼稚園・保育園児が小学校の生活科の授業「おもちゃランド」に参加

前期
(基礎・基本形成期)

地域学

スタートカリキュラム

幼児期

アプローチカリキュラム



中学校区内の小学校合同授業
・オンラインで地域学の学習



地域学
・地域の人をゲストティーチャーに体験学習

中期
(習熟・接続期)



基本的学習規律の確立
・相手の目を見て聞く
・相手に分かるように伝える

小1～小4

学習規律や生活習慣の基礎基本の徹底

地域よさに気づき、地域に親しむ



小中合同リーダー研修会



専門的な教科指導による
学習意欲の向上
・乗り入れ授業
・一部教科担任制

小5～中1

基礎基本の習熟と小中の円滑な接続

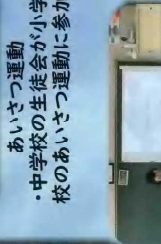
学校環境整備



花壇の整備

地域・市内を深める

後期
(充実・発展期)



あいつつ運動
・中学校の生徒会が小学校のあいつつ運動に参加



職業人の話を聞く会
(キャリア教育)

中2～中3

義務教育9年間の仕上げ・進路に向けた取組の充実

地域の応援団

授業支援



ミシンボランティア
七輪の火おこし体験

市を広める

登下校支援



小中一貫教育カリキュラム

こ・保・幼・小・中学校教職員による連携・協働

保護者・地域の学校運営への参画(コミュニティ・スクール)

小中一貫教育 Q&A

Q なぜ小中一貫教育が必要なのですか？

A 近年の教育内容に対応した学力向上、発達の早期化、小学校高学年からの不登校・長期欠席の増加、「中1ギャップ」への対応の必要性から、9年間の「学び」と「育ち」をつないで、子どもの発達段階に即した指導が出来る小中一貫した教育が求められています。

Q 行事はどうなるのですか？

A 小学校6年間と中学校3年間の枠組みは変わらず、入学式や卒業式もこれまでどおり行います。また、それぞれの中学校区で協議し、合同で行う行事も計画されていきます。

Q 学年段階の指導区分を「4-3-2」にするのはなぜですか？

A 子どもたちの発達の早期化や中1ギャップに対応するため、前期(小1～小4)・中期(小5～中1)・後期(中2～中3)に区分し、中期を充実させます。中期では、小・中学校両方の教職員が関わり、指導・支援にあたります。

Q 学習内容は変わるのですか？

A 基本的に小中一貫教育を開始することによる学習内容の変更はありません。これまでどおり、学習指導要領の内容に基づいた教育活動を行います。

Q 小学校と中学校の校舎の距離が離れている中学校区は、どのように小中一貫教育を進めるのですか？

A 小・中学校の先生が授業の進め方を一緒に研究したり、情報交換を通して子どもの理解を深めたり、小学生同士や小中学生が交流する機会を増やしたりと、各中学校区で工夫しながら様々な取組を行っています。

Q これまでの地域文化や歴史を生かした学習はどうなるのですか？

A 小中一貫教育では地域の範囲が広がるので、子どもたちは多様な文化や歴史に触れるようになり、「地域学」として、系統的・継続的に9年間で学習活動を進めていきます。



【発行】第2版(0504)

笠岡市教育委員会学校教育課

〒714-0081 岡山県笠岡市笠岡1866番地の1

Tel 0865-69-2152 Fax 0865-69-2186

e-mail:gakkoukyouiku@city.kasaoka.lg.jp